

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五  
藤枝市藤枝四一七  
大慶寺 大場正昭  
FaxTel 〇五四-六四一-二二九  
〇五四-六四四-六二六  
ohba@enmyozan.org

## 役員会（総代世話人会）開催

2月24日（土）、午後2時より役員会（総代世話人会）が開催されました。

護持会の29年度決算を承認し、30年度予算案を審議し決定致しました。

更に、宗祖降誕八百年記念事業の進捗、勸募金の途中経過が報告されました。

記念事業は予定通り進めていきますが、諸々の事情で工事開始が3月にずれ込むことになりました。

皆さまには寄付金勸募、記念事業工事でご迷惑をお掛け致しますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年度、諸般の事情で勇退することになりました総代さん3人の後任が正式に決定致しました。

新総代は、浅羽信雄さん（郡）、富山武志さん（瀬戸新屋）、山内康正さん（下青島）です。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。また、世話人も数名増員することになりました。

## 宗祖降誕八百年記念事業の進捗

今回の「宗祖降誕八百年記念事業」の寄付金勸募のお願いをさせて頂いたのが、昨年7月。勸募期間は、平成29年から平成33年度までの5年間。勸募を始めて8ヶ月を経過した。

現在の状況を報告すると、檀信徒の約86%からご理解とご協力のご返事を頂いた。甚深の謝意を表する次第である。

まだ、ご返事を頂いていない方々には、それぞれ事情がおりありと思うが、勸募期間は5年間なので、寄付金額の多寡に関わらず、ご理解ご協力を切にお願い申し上げる次第。

今回の「宗祖降誕八百年記念事業」の総予算は1億8千万円。

「本堂改修・耐震工事」、「客殿改修・耐震工事」、「境内整備」で約1億2千万円。「庫裡新築」に約5千万円。

この内「庫裡」は、住職や家族の住む場所であるので、庫裡新築の工事費を含め8千万円を寺側で用意させて頂いた。

また、客殿は、ご存じのように歴史上有名な

## 東京オリンピックの翌年が

## 日蓮聖人がお生まれになって

## 800年

な「田沼意次公」の御殿の一部を、当時7百両で買い取り移築したものだ。2百年以上経過している歴史的価値も高い建物である。

また、本堂は昭和2年に竣工して90年を経過した。同規模の本堂を今、新築すれば、評価額で3億5千万円以上。

更に本堂内の檼の丸柱2本は、円周157cm、直径50cmあり、この太さの柱を出す原木は、現在、日本国内に存在しない。もし仮にこの太さの檼を求めた場合、10年単位ではなく、百年単位で待たないと手に入らない。

この本堂、客殿を長く保つためには、適切な修理が欠かせない。木造は手を加えれば何百年ともつ。

本堂、客殿は次世代に受け継ぐべき建物である。

ただ、実際工事が始まれば、予期せぬ追加工事等の可能性も予想される。檀信徒皆さまには更なるご協力を申し上げる次第。